

# 西海ブロック水産業情報

NO. 82 (平成25年7月～9月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>8月中下旬に高水温の影響により、日本海沿岸全域で主要なアラム・カジメ場がほぼ壊滅状態となっている。</p>	<p>(筑前海:増殖)                      ・クルマエビの中間育成・放流を実施                      (筑前海:カキ養殖)                      ・9月下旬の調査で唐泊はほとんど斃死なし。糸島地区は例年並みの3～4割の斃死                      (有明海:増殖)                      ・水産庁事業で、ガザミC3サイズ種苗を7月22日～8月16日にかけて、82.8万尾放流。                      (豊前海:カキ養殖)                      ・付着数、成長共に順調。                      ・食害は、南部漁場を中心に全漁場で確認されるが、食害対策が奏功し軽微。                      ・7漁協(支所)で時価採砂を実施したが、幼生数少なく全体的に不調                      (豊前海:増殖)                      ・クルマエビ、ヨシエビならびにガザミの中間育成を実施。                      ・「かぐや方式」によるアサリ増殖試験を実施。行橋地先に殻長8～10mmのアサリ25万個を放流。                      ・漁協青壮年協議会が抱卵ガザミの再放流を実施。</p>	<p>【種苗生産】                      ・カサゴ:低水温の影響で成長は平年に比べやや遅れたが、5月上・中旬に中間育成用15万尾(45mmサイズ)配布予定。 ・アカウニ:放流用約110万個(8～12mmサイズ)、養殖用約10万個(3～5.8～12mmサイズ)配布中。</p>	<p>○貝類増養殖試験研究                      マガキ、タイラギ、真珠の種苗や養殖の技術開発試験等を実施中                      ○標識放流                      トラフグ(全長70mm、35.5万尾、有明海)、ガザミ(全長15mm、5万尾、有明海)、クルマエビ(全長70mm、21.7万尾、有明海) ○放流魚追跡調査                      トラフグ、クエ、クルマエビ、ガザミ、アワビ他について追跡調査を実施                      ○養殖魚類の育種技術開発研究事業                      【トラフグ】代理親魚技術によるトラフグYY雄作出試験実施中。優良親魚候補(早熟、高成長)由来種苗の形質評価試験実施中。                      【ホシガレイ】偽雄化処理魚の後代検定魚を中間育成中。                      ○良質な種苗の生産技術開発研究事業                      【クエ】26万尾の稚魚を生産(生残率54%)                      【クロマグロ】5千5百尾を生産                      ○クロマグロの種苗生産に向けた飼養技術の高度化(プロジェクト研究)                      【クロマグロ】シロギス幼魚・親魚の継続飼育中</p>	<p>○養殖クルマエビのPAVが養殖場で1件発生(7月中旬)。斃死前に処分。その後感染の拡大はなし。                      ○夏季高水温時に、養殖トラフグでの「オヨギイソギンチャク刺症」による斃死発生。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>8/26 長島町浦底湾及び白瀬港内で赤潮(ヘテロシグマアカンオ等)が発生。漁業被害無し。                      スジアラ種苗生産:20トン水槽2面で24,000尾を生産。                      サバヒー種苗生産:60トン水槽2面で種苗生産中。</p>	<p>・平成25年度イワガキ種苗生産試験                      500Lポリエチレン製水槽を使用して、7月9日からR1、8月7日からR2、8月8日からR3、8月22日からR4の試験を開始した。R1及びR3は成長が遅く減耗したことから、また2は浮上幼生数が少なかったことから飼育を中止した。R4も成長が遅く減耗も見られたが、28日齢で一部の幼生で眼点を確認されたことから、9月20日に付着基質を投入し、付着期飼育に移行した。 ・ウスバハギ種苗生産技術開発試験 5KL水槽を使用して、7月10日からR1、7月21日からR2の試験を開始したが、いずれも仔魚が急減したため試験を終了した。 R3は100Lパンライト水槽を使用して試験を開始したが、6日齢で仔魚が急減したため、試験を終了した。</p>		